



# ASNITE-Pの 利用・活用事例

～信頼ある製品を提供するために～

2024年12月

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター（IAJapan）



# 認定事業者とSDGs

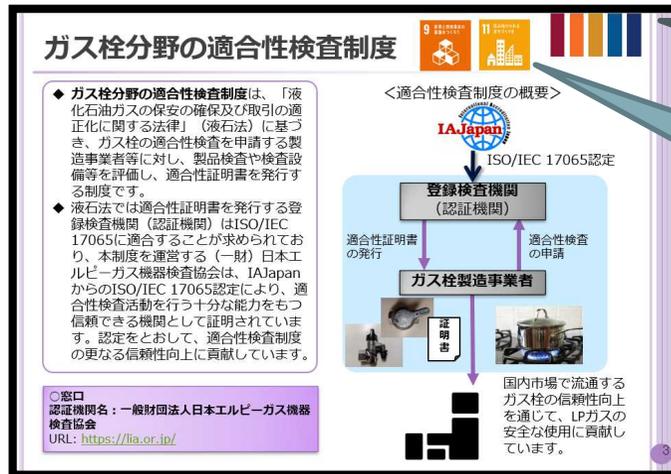
IAJapan認定事業者は、以下のSDGs目標に貢献しています。



これらは全ての認定事業者に共通する目標であり、認定事業者の活動は、それ以外にも活用分野毎に様々なSDGs目標に貢献しています。

活用事例毎に、特に関係の深いと思われるSDGs目標を表示しています。

## 【各活用事例の見方】



IAJapan認定事業者共通のSDGs目標

個別の事例毎に関わりの深いSDGs目標の表示  
(例) 目標9：強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業課の促進及びイノベーションの推進を図る  
目標11：包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間移住を実現する

【IAJapan ホームページ】 認定×SDGs

[https://www.nite.go.jp/iajapan/aboutus/pr/SDGs\\_index.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/aboutus/pr/SDGs_index.html)

# ガス栓分野の適合性検査制度



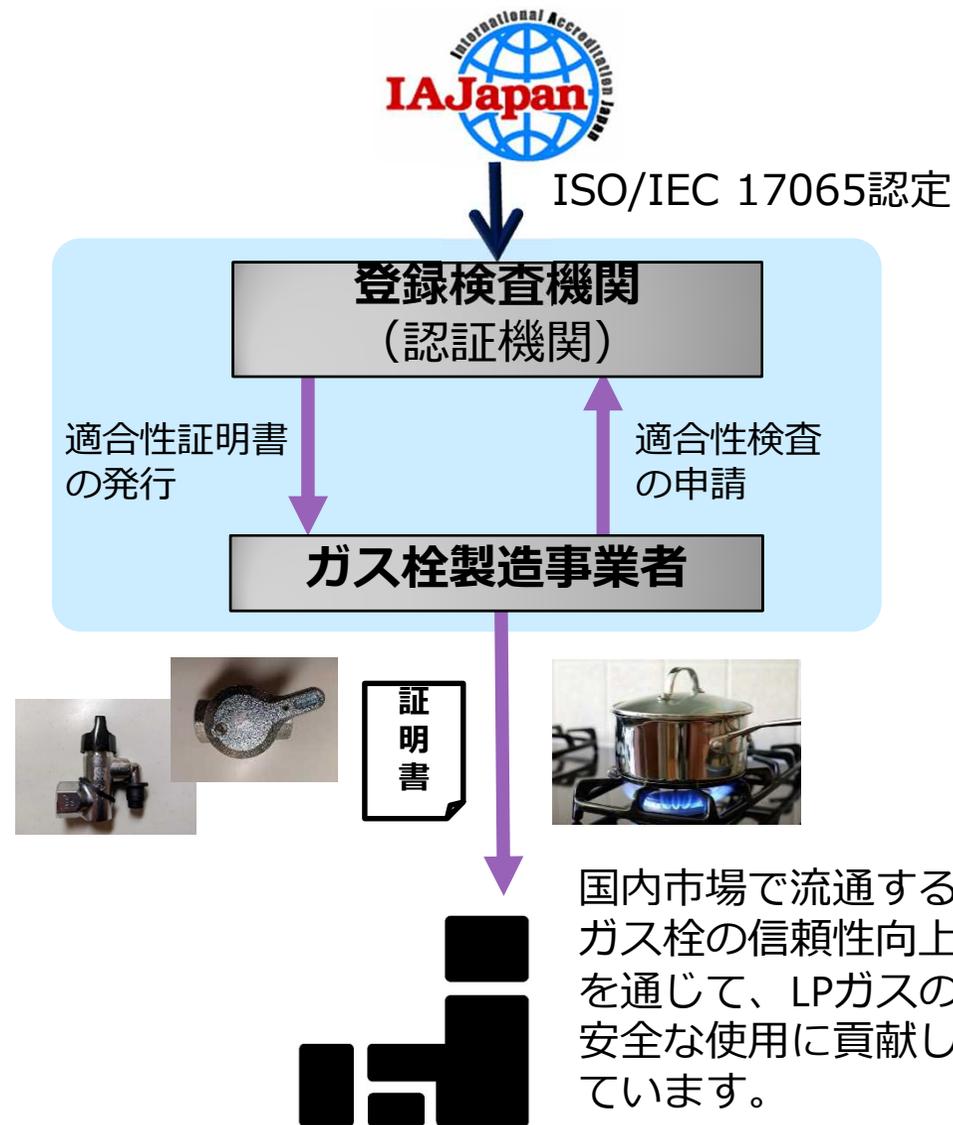
- ◆ **ガス栓分野の適合性検査制度**は、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」（液石法）に基づき、ガス栓の適合性検査を申請する製造事業者等に対し、製品検査や検査設備等を評価し、適合性証明書を発行する制度です。
- ◆ 液石法では適合性証明書を発行する登録検査機関（認証機関）はISO/IEC 17065に適合することが求められています。本制度を運営する（一財）日本エルピーガス機器検査協会は、IAJapanからのISO/IEC 17065認定により、適合性検査活動を行う十分な能力をもつ信頼できる機関として証明されています。認定をとおして、適合性検査制度の更なる信頼性向上に貢献しています。

## ○窓口

認証機関名：一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会

URL: <https://lia.or.jp/>

## <適合性検査制度の概要>



# 鉄道製品輸出のための認証



- ◆ 信号システムをはじめとした日本の鉄道製品は世界的に優れており、海外への輸出が進められています。
- ◆ これらを海外市場に輸出する際、国際基準に適合した認証書が要求されることがあります。これら認証書を発行する製品認証機関は、ISO/IEC 17065認定を取得することで、信頼性が確保されています。
- ◆ (独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 鉄道認証室 (NRCC) は、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されています。認定により、我が国初の鉄道分野の認証機関として、日本製品の信頼性向上、海外展開に貢献しています。

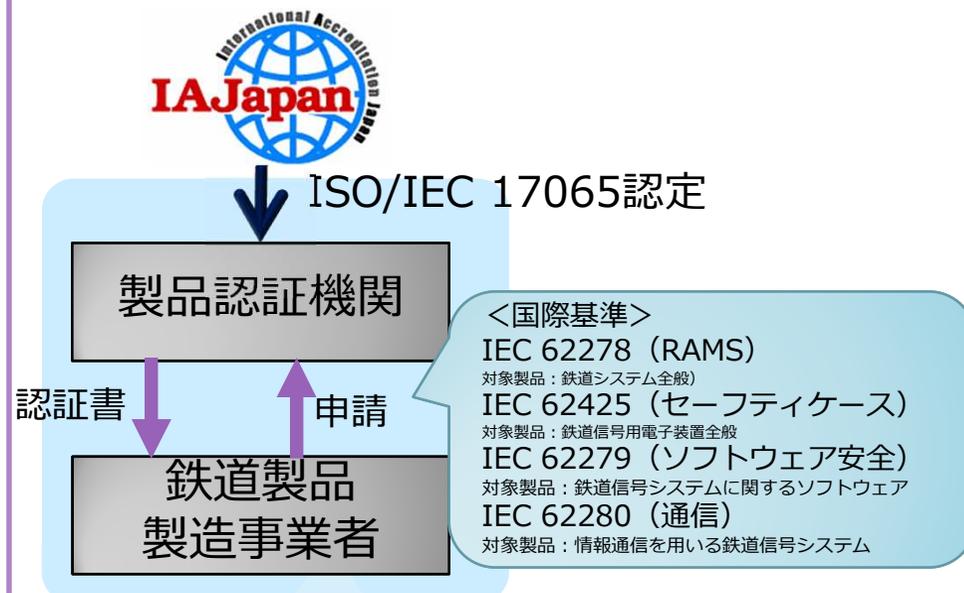
※参考 (IAJapanウェブサイト)  
[https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info\\_news\\_20180516.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news_20180516.html)

## ○窓口

認証機関名：独立行政法人自動車技術総合機構  
交通安全環境研究所 鉄道認証室

URL:<https://www.ntscl.go.jp/certification.html>

＜鉄道分野での認定活用について＞



認定シンボル付きの認証書



認定された認証機関が認証した信号システム  
(写真提供：日本信号株式会社)

# OIML-CS制度



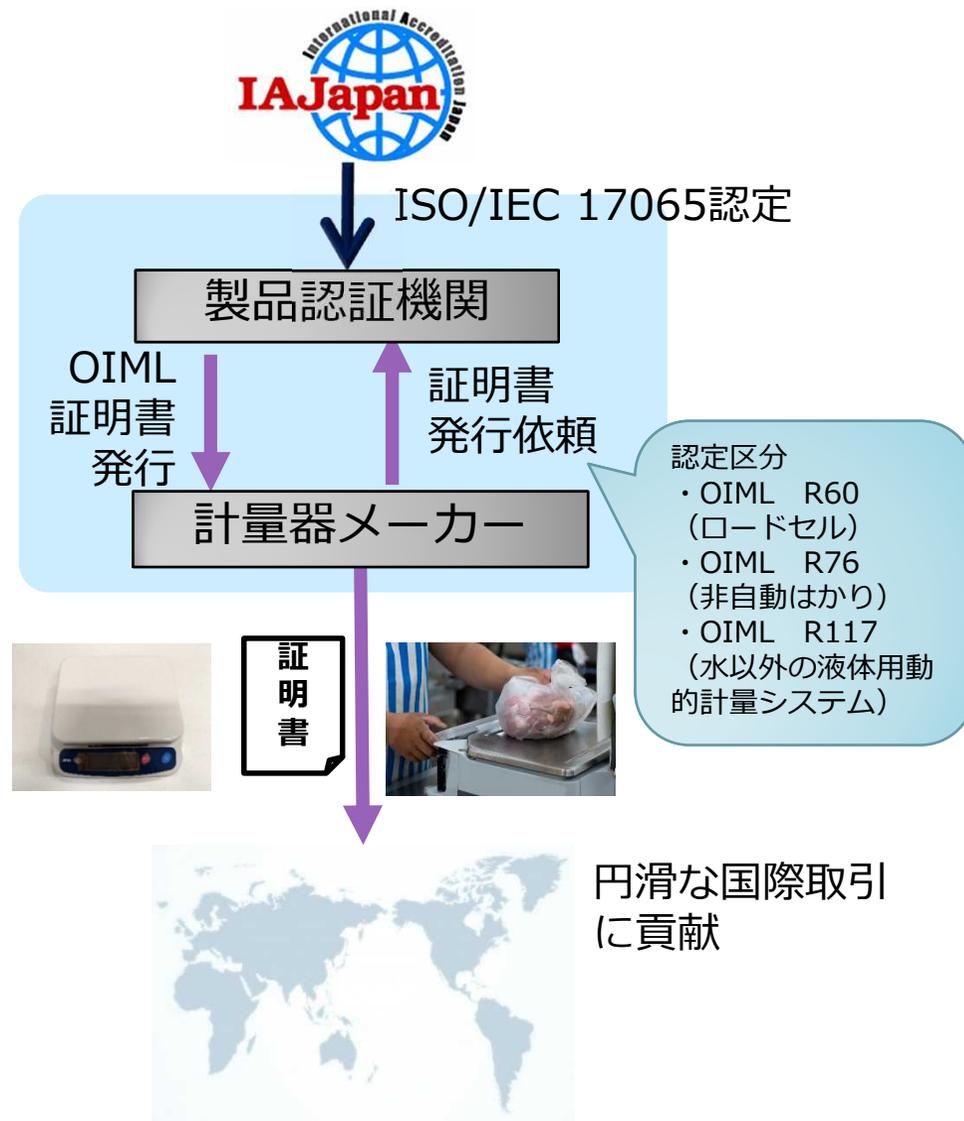
◆ **OIML-CS制度**は、OIML 国際勧告に基づき、食品売場や調剤薬局で使用されるはかりなどの計量器の証明書を国際相互受入れするための国際的な証明書制度です。本制度において、証明書発行機関はIAF MLA署名の認定機関からのISO/IEC 17065認定の取得等が求められています。

◆ (国研) 産業技術総合研究所は、IAJapanからの認定に基づいてOIML-CSの証明書発行機関として登録されました。これにより、OIML-CS制度参加国間同士で手続きが簡略化され、計量器の国際貿易の円滑化に貢献しています。

※参考 (IAJapanウェブサイト)  
[https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info\\_news0312.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news0312.html)

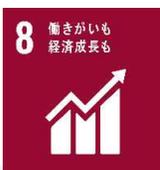
○窓口  
認定機関名：国立研究開発法人産業技術総合研究所  
URL：<https://unit.aist.go.jp/qualmanmet/metrolqual/legal/>

## <OIML-CS制度の概要>



# Textile Exchange\*認証制度

\*TE:テキスタイルエクスチェンジ



◆ **Textile Exchange (TE) 認証**は、地球環境に優しいオーガニックコットンやリサイクル繊維、動物福祉に配慮されたウールやダウンを使用したアパレル製品などを対象とした、SDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献できる国際的な認証制度です。TE認証機関は、認定機関よりISO/IEC 17065認定を取得することが求められており、IAJapanはTE認証制度上の認定機関となっています。

※認定範囲（IAJapanウェブサイト）

<https://www.nite.go.jp/data/000113312.pdf>

詳細について（Textile Exchangeウェブサイト）

<https://textileexchange.org/accreditation/>

◆ （一財）ケケン試験認証センターは、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されています。この認定により、我が国初のTE認証機関として、2021年4月より日本で認証活動を開始しています。

※参考（IAJapanウェブサイト）

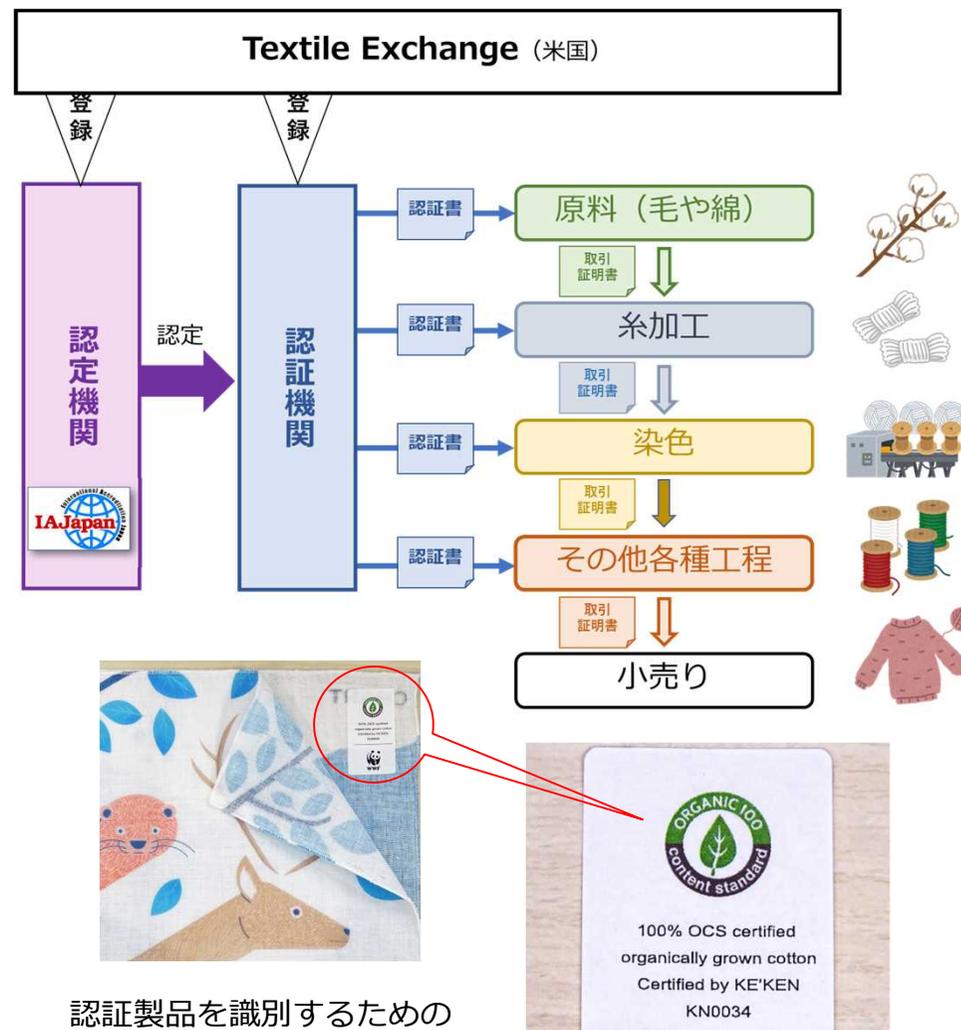
[https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info\\_news0319.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news0319.html)

○窓口

認証機関名：一般財団法人ケケン試験認証センター

URL：<https://certification.jwif.org/>

## <Textile Exchange認証の概要>



認証製品を識別するためのマーク（OCSの場合の例）

# 防爆機器認証

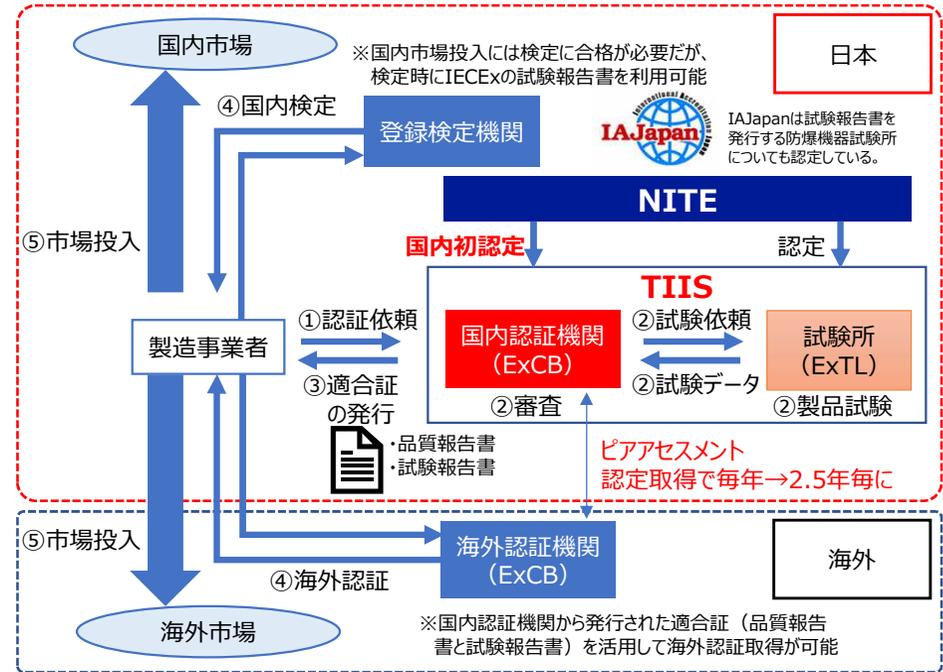


- ◆ 防爆機器は、石油・化学プラントなど可燃性物質を扱う場所で、爆発を防ぐために設計された機器類です。防爆機器は、世界36カ国が加盟する「防爆機器規格適合認証制度（IECEX）」に基づいて認証されることにより、加盟国において受け入れられやすくなります。
- ◆ （公社）産業安全技術協会（略称：TIIS）は、我が国初の防爆機器の認証機関として、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されました。
- ◆ この認定により、国内防爆機器メーカーは、自社製品がTIISから認証されることで加盟国同士での受け入れが進むため、製品の信頼性が向上するだけでなく、海外進出が容易になり、国際的な競争力が強化されます。

※参考（IAJapanウェブサイト）  
[https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info\\_news20221130.htm](https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news20221130.htm)

○窓口  
認証機関名：公益社団法人産業安全技術協会  
URL：[https://www.tiis.or.jp/category\\_iecex/](https://www.tiis.or.jp/category_iecex/)

## <防爆機器認証の概要>



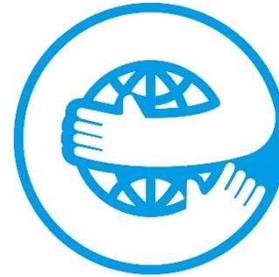
<防爆機器の例>  
スマホ、ノートPC、LEDライトなど  
（ガソリン蒸気や水素ガスなどを含んだ揮発性の気体等に触れた電気機器が着火剤とならないように設計されている機器類）

# エコマーク認証



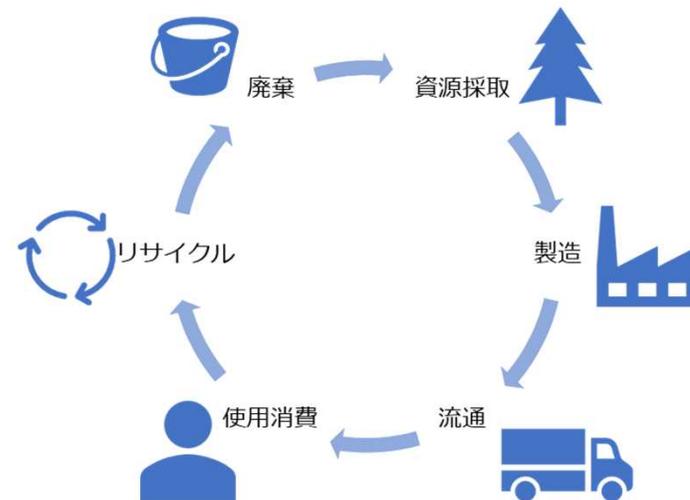
- ◆ エコマークは、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。
- ◆ (公財)日本環境協会は、エコマークの認証機関として、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき国内で初めて認定されました。
- ◆ この認定により、国内外に多数存在する環境ラベルの中でエコマークの信頼性が更に向上します。これにより、我が国における調達基準としての活用拡大が見込まれるとともに、相互承認協定の更なる拡大により国内エコマーク商品の海外市場への参入が容易になります。国内外市場におけるエコマーク商品の流通が拡大することで、地球規模での環境負荷低減につながることを期待されます。

※参考 (IAJapanウェブサイト)  
[https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info\\_news20230303.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news20230303.html)



<エコマーク>

<エコマーク製品の例>



<商品のライフサイクル>

○窓口

認証機関名：公益財団法人日本環境協会

URL：<https://www.ecomark.jp/>

# PKS認証制度



- ◆ パーム椰子殻（PKS : Palm Kernel Shell）などのバイオマス燃料は、我が国のFIT/FIP制度において認証制度の活用が行われています。

※参考（FIT/FIP制度ウェブサイト）

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saiene/kaitori/surcharge.html](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/surcharge.html)

- ◆ 一般社団法人農産資源認証協議会（ARC）が運営するPKS認証制度は、サプライチェーン上の各事業者を一括して認証できるという特長があり、PKSの安定的な供給に寄与します。
- ◆ （一財）日本ガス機器検査協会は、PKS認証制度の認証機関として、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されました。
- ◆ この認定により、制度の信頼性向上と、バイオマス燃料の安定調達に貢献し、再生可能エネルギー比率の向上や気候変動対策の一助となることが期待されます。

※参考（IAJapanウェブサイト）

[https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info\\_news20240821.html](https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news20240821.html)

○窓口

認証機関名：一般財団法人日本ガス機器検査協会

URL：<https://www.jia-page.or.jp/>

## < PKS認証制度の概要 >

### PKS認証

下流の商社等が関連する組織を全て管理下に置き、**サプライチェーン全体の認証を一括で取得する。**

商社の交渉力やネットワーク力を生かした確実な対応が期待できる。



<パーム椰子殻（PKS）> <搾油、乾燥後の山積みのPKS>

PKSはパーム油を搾りとったあとの残渣（残りかす）で、バイオマス発電のためのカーボンニュートラルな燃料として注目が集まり有効活用されるようになりました。